

厚生年金基金の財政状況等

(2020(令和2)年度～2024(令和6)年度)

※ 厚生年金基金より提出された2024(令和6)年度の決算書等に基づき、
2025(令和7)年12月時点で集計を行った結果をまとめたものである。

1. 適用、給付等の状況

表1 基金数、設立事業所数、加入員数

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
基金数	5	5	5	4	4
代行型 (構成割合)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
加算型 (構成割合)	5 (100.0)	5 (100.0)	5 (100.0)	4 (100.0)	4 (100.0)
設立事業所数 (増減)	490 ▲ 1,040	489 ▲ 1	490 1	488 ▲ 2	486 ▲ 2
加入員数(千人) (増減)	126 ▲ 31	125 ▲ 2	122 ▲ 2	119 ▲ 3	118 ▲ 1
男	75	73	71	69	68
女	51	51	51	50	51

表2 平均標準給与

(円)

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
報酬月額	349,566	346,422	348,362	353,802	362,978
男	408,468	405,254	408,109	414,191	423,424
女	262,769	262,269	264,890	271,163	282,209
賞与(月平均)	106,137	106,654	109,547	110,918	114,168
男	125,517	126,256	129,652	130,910	134,644
女	77,579	78,614	81,459	83,560	86,808

表3 年金給付等の状況

(1) 年金の受給者数

(人)

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
総数	101,124	103,623	105,729	107,871	109,658
代行型	0	0	0	0	0
加算型	101,124	103,623	105,729	107,871	109,658

(2) 年金月額、一時金額

(円)

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
平均年金月額	97,637	97,914	96,862	96,676	96,377
代行	57,519	58,083	57,382	57,767	57,944
上乗せ部分	40,118	39,831	39,481	38,909	38,432
平均選択一時金額	2,998,278	3,038,144	2,863,069	2,725,205	2,636,992
平均脱退一時金額	330,188	331,683	332,376	338,258	354,026
平均遺族一時金額	3,379,499	3,466,761	3,417,839	3,185,437	3,305,790

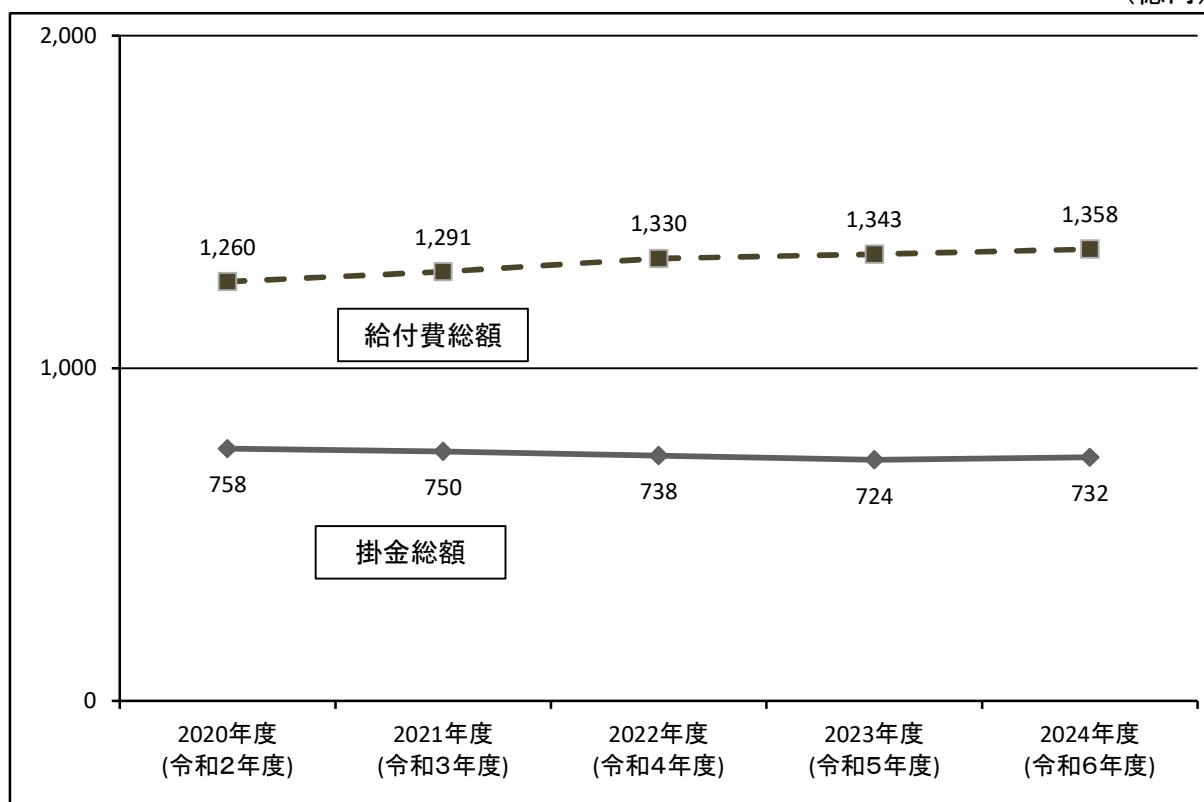
(3) 掛金総額、給付費総額

(億円)

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
基金数（再掲）	5	5	5	4	4
掛金総額	758	750	738	724	732
給付費総額	1,260	1,291	1,330	1,343	1,358
年金給付	1,141	1,174	1,212	1,220	1,245
一時金給付	120	117	118	122	113

(参考) 掛金総額と給付費総額の推移

(億円)

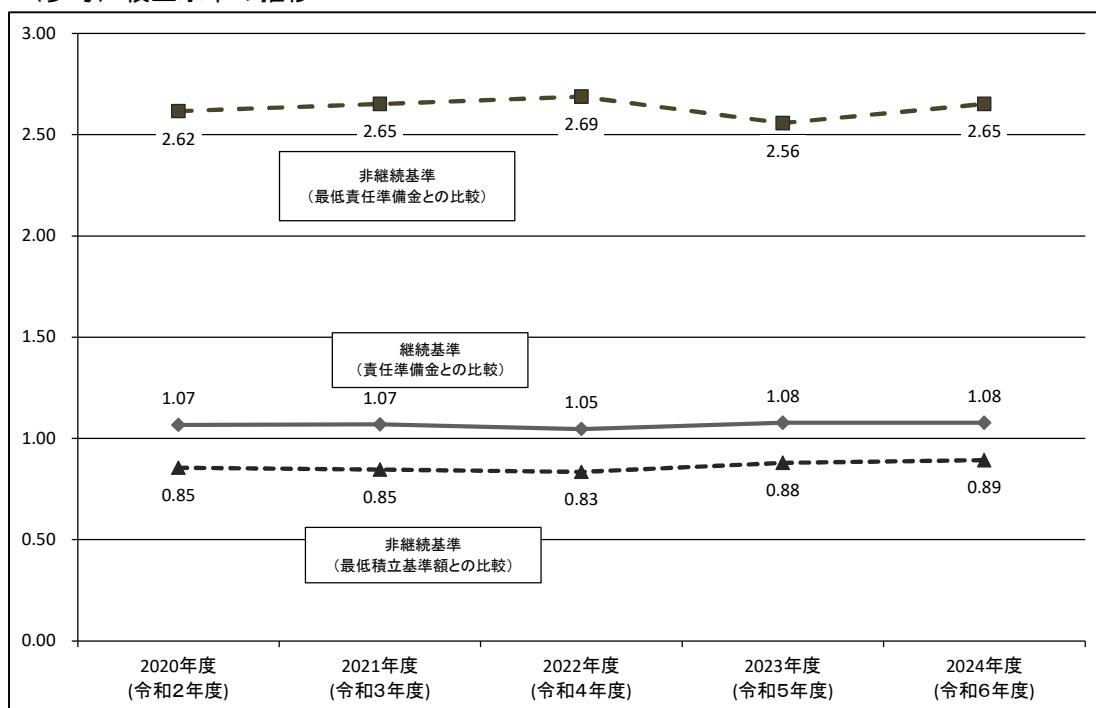


2. 積立の状況

表4 総括表

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
基金数（再掲）	5	5	5	4	4
純資産額（①）	1.9兆円	1.9兆円	1.9兆円	2.0兆円	2.0兆円
責任準備金（②）	1.8兆円	1.8兆円	1.8兆円	1.9兆円	1.8兆円
積立水準（①／②）	1.07	1.07	1.05	1.08	1.08
最低責任準備金（③）（※1）	0.7兆円	0.7兆円	0.7兆円	0.8兆円	0.7兆円
積立水準（①／③）	2.62	2.65	2.69	2.56	2.65
最低積立基準額（④）（※2）	2.2兆円	2.3兆円	2.2兆円	2.3兆円	2.2兆円
積立水準（①／④）	0.85	0.85	0.83	0.88	0.89

（参考）積立水準の推移



（※1）「最低責任準備金」とは、代行部分（厚生年金の給付の一部を代行する部分）の給付に必要な額であり、現時点で解散する場合に最低限保有していかなければならない額のこと。

（※2）「最低積立基準額」とは、最低責任準備金に現時点までの加入員期間の上乗せ給付を保証するために必要な額を加えた額のこと。

表5 積立の状況

(1) 繼続基準

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
純資産額が責任準備金以上である基金 (①)	5	5	5	4	4
純資産額が責任準備金未満である基金 (②)	0	0	0	0	0
純資産額が責任準備金の90%以上であるもの	0	0	0	0	0
純資産額が責任準備金の80%以上90%未満であるもの	0	0	0	0	0
純資産額が責任準備金の80%未満であるもの	0	0	0	0	0
上記①の基金の剩余额（合計）	1,209億円	1,244億円	821億円	1,445億円	1,419億円
上記②の基金の不足額（合計）	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円

(2) 非継続基準（最低責任準備金との比較）

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
純資産額が最低責任準備金以上である基金 (①)	5	5	5	4	4
純資産額が最低責任準備金未満である基金 (②)	0	0	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の90%以上であるもの	0	0	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の80%以上90%未満であるもの	0	0	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の80%未満であるもの	0	0	0	0	0
上記①の基金の剩余额（合計）	1兆1,808億円	1兆1,985億円	1兆1,679億円	1兆2,230億円	1兆2,273億円
上記②の基金の不足額（合計）	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円

(3) 非継続基準（最低積立基準額との比較）

区分	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
純資産額が最低積立基準額以上である基金（①）	1	1	1	1	1
純資産額が最低積立基準額未満である基金（②）	4	4	4	3	3
純資産額が最低積立基準額の90%以上であるもの	0	0	0	2	1
純資産額が最低積立基準額の80%以上90%未満であるもの	4	3	3	1	2
純資産額が最低積立基準額の80%未満であるもの	0	1	1	0	0
上記①の基金の剰余額（合計）	68億円	63億円	31億円	65億円	66億円
上記②の基金の不足額（合計）	3,312億円	3,565億円	3,717億円	2,825億円	2,432億円

(参考) 積立水準（純資産額／最低積立基準額）ごとの基金の割合

